

かみくげ 恐竜の里新聞

令和4年4月20日

発行：上久下恐竜の里づくり部会

第138号
上久下地域
自治協議会

0795-78-0001

自治会長会 新役員決まる

上久下自治会長会は、令和4年度の各自治会長選出が終了されたことを受け、3月24日に新旧合同で自治会長会を開催しました。

新しく選出された自治会長は、青田・中島拡次氏、下滝・野見山眞澄氏、篠場・村上俊明氏、畑内・柳川瀬進氏、北太田・竹内修氏、太田・片瀬正史氏の6人です。昨年度から引き続いて任に就かれるのは、阿草・藤原敏宏氏と上滝・大野剛氏の2人です。今年度の自治会長会会長に村上俊明氏、副会長には柳川瀬進氏が選出されました。自治協議会と各自治会の発展のために、ご尽力をよろしくお願い致します。

檜皮葺ワークショップ
第2弾開催

地域の伝統産業である檜皮葺を含む「日本伝統建築工匠の技」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念して、自治協議会主催で檜皮葺ワークショップの第2弾を3月5日と6日に開催しました。会場の丹波竜の里公園に建てた東屋の屋根を檜皮で葺く体験で、合計26人が足場に登って職人の指導のもと竹釘を打ち付けていく作業に没頭していました。



屋根に近い高さまで足場を組んでいます

昨年暮れに第1弾を開催した時から3回目の参加になる小川地区の親子は、「すっかり檜皮葺のファンになってしまいました。次のワークショップ開催日が決まったら教えて下さい」と楽しそうに話してくれました。令和4～5年度の事業として、昨年度に引き続いて丹波県民局の「地域再生活動の次世代への継承事業」の補助金と、新たに丹波市の「活躍市民によるまちづくり事業」応援補助金を受けて、東屋をもう一基建設する予定です。現在建設中の東屋と合わせて2枚の屋根を何回ものワークショップで仕上げていく計画となっています。ワークショップの予定日はポスター・チラシなどで告知しますので、地域の方々もぜひこの機会に参加して、伝統技術の素晴らしさを実感してもらい市外へのPRもお願いしたいと思っています。ちなみに檜皮葺ワークショップ第3弾は、5月21日（土）と22日（日）の10時から開催する予定となっています。

篠山層群オンライン
セミナー開催される

職人さんが丁寧に教えてくれます

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会が3月20日に、上滝の発電所記念館と丹波竜化石発掘現場を会場にして、篠山層群の化石について専門家が語るオンラインセミナーを開催しました。朝からスタッフ数人が多くの撮影機材を設置しテストを重ねて、オンラインセミナーが午後からスタートしました。出演は人と自然の博物館の池田忠弘主任研究員と、筑波大学の田中康平助教の二人。そして地元から村上茂さんがゲストとして出演しました。このオンラインセミナーは「Jackpot(大当たり)化石研究を語りつくそう in 篠山層群」と題して、専門家から発掘調査の生の声が聞けることや質問タイムがあることを売りにして、YouTubeでライブ配信されました。池田先生からは、丹波竜化石発見から現在までの篠山層群の多種多様な化石発見の説明（古代両生類を中心に）があり、田中先生からは専門の恐竜

卵化石の詳しい説明がありました。質問タイムでは、「どんな場所で化石が出やすいですか?」とか、「なぜこの仕事を選んだのですか?」というような素朴な疑問がたくさん寄せられました。興味のある方は、題字の内容で検索すれば視聴することができます。



現場で発掘調査の再現をする池田・田中両氏



発電所記念館での撮影の様子

卒業記念で丹波竜ペイント

2月28日、上久下小学校6年生が丹波竜化石発掘現場に集合して、卒業記念で丹波竜のペンキ塗りに取り組みました。児童たちは歓声を上げながらも丁寧にペンキを塗り、約1時間でピンク色の丹波竜を再現してくれました。参加した児童たちは「私たちが塗った丹波竜を多くの人たちに見に来て欲しい。上久下がもっと賑やかになったら嬉しいです」と感想を話してくれました。地域学習で丹波竜の事などをたくさん学んできて、6年間の地域への思いが詰まった一言に感動しました。



大きな丹波竜を分担して塗上げ



完成した丹波竜を前にして記念撮影

大空学級の発表会

上久下小学校6年生は2月10日に大空学級発表会で、9月から取り組んできた人権についての学習成果を発表しました。まん延防止等重点措置期間の影響で保護者の参加もなく、4・5年生のみが聴衆する状況となりましたが、6年生達は人権について同和問題からLGBTまで幅広く問題を追究し、自分の考えを的確に発表していました。会場の4・5年生も、次は自分たちが勉強する立場になるため、真剣に聞き入り発表の感想を述べていました。



4・5年生を前にして発表する6年生

上久下小学校 卒業式

上久下小学校（八尾滋樹校長）で、3月23日に卒業証書授与式が執り行われました。今年もコロナ禍の影響で来賓は3人に絞られ、保護者や在校生が見守るなか感染防止に気を配りながらの卒業式となりました。八尾校長から「12歳のあなたたちは、6年後には18歳になって成人します。これからは自覚をもって行動して下さい。そして地域への感謝の気持ちを持ち続けて下さい」と言葉を贈られて、15人が小学校を巣

立っていきました。元気村かみくげからは、丹波竜の強運御守りと文具セットが贈呈されました。



在校生に見送られる卒業生

上久下小学校 入学式

4月8日、満開の桜のもとで上久下小学校は5人の新入生を迎えました。担任になる関先生から名前を呼ばれると大きな声で返事をして、緊張しながらも元気一杯の様子でした。八尾滋樹校長から「大きな声で挨拶をして下さい。自分の命も他人の命も大事にして下さい」と二つメッセージがあり、児童を代表して柳川瀬暖都君から「みんなで一緒に楽しく学校生活を送りましょう」と歓迎の言葉をもらって、上久下小学校の一員になりました。令和4年度の全校生は45人、3年生と4年生が複式学級で勉強することになっています。



5人の新一年生

元気村の顔出しパネルリニューアル

平成24年に神戸夙川学院の大学生4人が描いた顔出しパネルは、元気村かみくげを訪れる人たちの撮影スポットとして活躍してきましたが10年経った昨年暮れに傷みが激しくなって解体しました。元気村かみくげが小松さんにリニューアル工事を依頼し、絵とペンキ塗りは地域づくりセンターが担当して、苦心作が4月に完成しました。新しくなった顔出しパネルで親子の歓声上がるのを楽しみにしています。



リニューアルされた顔出しパネル

5月の予定

- ◆ 5月13日（金）午後7時30分
恐竜の里づくり部会
- ◆ 5月14日（土）午前9時
地域づくりセンター清掃（太田）
- ◆ 5月19日（木）午後7時30分
自治会長会
- ◆ 5月10日（火）・24日（火）午前10時
恐竜時計台のカフェ
- ◆ 5月21日（土）・22日（日）午前10時
檜皮葺きワークショップ